セイノー（グループ1）

第10回ミーティング

水平線 

2020 年 1 月 22 日 / 午後 17 時 00 分 - 午後 18 時 20 分/

# **参加者**

新藤　康喜,都　勇志,小山田　健一,前田　翼,後藤　圭太

欠席者：李雨潤（LI YURUN）

# **議題**

1. 最終報告までの進め方
   1. ドライバー距離の段階的に増える要因分析
      1. 遠方データを取り除くとどうなるか
         1. 今ある出力結果を見るだけで比較できるのでは？
      2. （人数少ないところがクラスタリングで合併しただけ）
   2. 配達予定時刻の決定方法をセイノーさんに聞く（ドライバーによって決められている）
   3. ベテランドライバーの評価
      1. 行列の一致度を調べる評価（カッパー係数？）
      2. 画像に含まれる情報が位置関係のみ（道路状況などはふくまれていない）
   4. 配達予定時刻の結果スライド変更について
      1. Liさんの時間計算モデル（緯度経度、個数、重量）を説明するスライド追加
      2. 配達予定時刻が意味のあるデータか確認と、今後の分析方針決定（タスク参照）

# **質問事項**

* 配達予定時刻の決め方（toセイノーさん）
* セイノーさんの行ったベテランドライバーの一致率評価はどう決めているのか？

# **次回ミーティング日時(未定)**

1月　25日 17時 00分～（セイノーさんと情報共有など）

1月 28日 17時 00分～（おそらくラストミーティング、各タスクの報告、資料作成に必要なデータをすべて用意）

# **次回までのタスク**

小山田・都：質問管理表に投稿、ドライバー削減の最大距離が段階的に上昇する部分のデータ考察

新藤：資料手直し、月曜ミーティングにセイノーさんが来られるか確認、直線距離のみのデータを考察

前田：資料のミスの訂正、ベテランドライバーの評価を行う（行列の一致度など）

Li：

①距離のみを考慮した配達ルートに要するドライバー毎の合計配達時間、ドライバー毎の各地点での配達時間を出力

②-a（配達予定時間が必要だと判断→配達予定時刻を考慮した結果、各地点での配達予定時間の遵守率を比較）  
配達予定時間を考慮した配達ルートのドライバー毎の合計配達時間、ドライバー毎の各地点での配達時間を出力

②-b（配達予定時間が必要ないと判断→二点間に要する時間を求めるモデルの性能を説明）  
提供データの配達時間をLiさん作成の時間算出モデルを利用して算出し直す

後藤：資料手直し、ベテランドライバー評価値をデータを見て考察、計算時間算出モデルの仕組みをスライドで説明追加